

金融市場NOW

# 接戦が続いた米中間選挙 一週間が経過し大勢判明

## 共和党躍進ならず。民主党は事前の予想よりも善戦。

- ▶ 中間選挙は下院では共和党が多数派を奪還したものの、事前の予想よりも僅差となる。接戦の選挙区が多く、大勢判明まで約一週間を要した。上院は民主党が多数派を維持。
- ▶ 下院多数派を共和党に奪還され、バイデン政権の政策運営が注目される中、次期大統領選に向けた動きも。

### ～下院は共和党が多数派を僅差で奪還～

- 8日投開票の米中間選挙は大勢が判明しました。全議席改選の下院では共和党の獲得議席が過半数218に達し、多数派を獲得しました(図表1)。選挙前の各報道機関の予測では共和党が過半数を大きく上回り、民主党に大差をつけるとの見方が大勢を占めていましたが、民主党との差は僅差となりました。接戦の選挙区が多く、大勢が判明するまで約一週間を要しました。
- 上院は、約1/3の議席と補欠選など含め35議席が争われました。民主党は劣勢が予想される中、激戦州などで議席を獲得し(図表2)、非改選の議員を含めた上院勢力図は、民主党50議席、共和党49議席となっています(図表1)。残る1議席はジョージア州の議席で州ルールにより得票率50%に達する候補者が出なかったため(図表2)、決選投票が12月6日におこなわれます。民主党は現時点で50議席獲得ですが、議案などが可否同数の場合は、上院議長を兼務するハリス副大統領が投票権を持つことから、民主党の多数派維持が確定しました。

### ～共和党の大躍進ならず、民主党が善戦～

- 中間選挙では大統領が所属する政党が、議席を減らすケースが過去に多くあります。インフレ高止まりにより、バイデン大統領の支持率が40%程度と低く、大統領への不信任から共和党は大幅に議席を伸ばすと予想されていました。共和党が想定よりも議席を伸ばせなかった理由として、妊娠中絶問題や議事堂襲撃問題への党としての態度、気候変動問題などに取り組む党の姿勢などが無党派層から敬遠されたとの声があります。2020年大統領選の結果を否定するトランプ前大統領の主張などに拒否反応を示した有権者の存在も要因としてあげられています。また、インフレは高止まりしているものの、直近の失業率は3%台と比較的低水準であり、多くの労働者が職を失っている状況ではないことから、経済政策が事前の想定より重要視されなかったとの見方もあります。

図表1：上下院勢力図(議席数)

上院 過半数：51(議員総数100)



※議案などが可否同数となった場合は、上院議長を兼務する民主党ハリス副大統領が1票を投じる。

下院 過半数：218(議員総数435)



◎上下院とも日本時間11月17日午後2時時点で各メディアによる当選確実報道に基く議席数

図表2：上院選挙 接戦州の得票率

州	民主党候補者	得票率	共和党候補者
ネバダ	◎コルテズマスト	48.9%	ラクソルト
アリゾナ	◎ケリー	51.4%	マスターズ
ジョージア	ワーノック	49.4%	ウォーカー

ジョージア州は過半数を獲得した候補者がいないため州ルールに則り決選投票

※ 開票率 ネバダ州99% アリゾナ州99% ジョージア州99%  
日本時間11月17日午後2時時点

出所) 図表1、図表2は各種報道資料等をもとにニッセイアセットマネジメントが作成

### ～2024年大統領選に向けた動きも～

- 共和党のトランプ氏は15日、2024年大統領選に出馬することを表明しました。しかし大統領選の行方を左右する州の1つとされるフロリダ州においては約6割の共和党員が出馬に反対しており、ウィスコンシン州などの激戦州でのトランプ氏の支持率はバイデン大統領よりも低いとされます。選挙結果の否定など極端な主張が有権者に敬遠されているとの見方があります。一方、民主党内でもバイデン大統領は2期目を務めるべきではないとの声が多くなっています。下院多数派を共和党に握られ、難航が予想されるバイデン大統領の政策運営に市場の注目が集まるものと思われます。

## 【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

## &lt;設定・運用&gt;



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120-762-506（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>